

秋冬製品のご案内

●こてっちゃん牛もつ鍋シリーズ……………

おなじみの「こてっちゃん牛もつ鍋」です。スープに使用しているニンニクを増やし、より専門店のような美味しさに近づけました。コロナ禍での外出自粛による「自宅で専門店の味を食べたい」というニーズに合わせて、リニューアルしました。

リニューアル



こてっちゃん牛もつ鍋
醤油味

リニューアル



こてっちゃん牛もつ鍋
味噌味

●極亭 (きわみてい)

博多名物牛もつ鍋シリーズ……………

ボリューム・味にこだわった、ちょっと贅沢な牛もつ鍋です。スープに使用している国産牛脂を増やし、専門店の味により近づいた、コクと旨みのスープです。

リニューアル



極亭
博多名物牛もつ鍋
醤油味

リニューアル



極亭
博多名物牛もつ鍋 味噌味

リニューアル



極亭
旨辛牛ホルモン鍋

●旨美鍋 (うまみなべ)

具入り鍋シリーズ……………

ご家族揃って外食をしているような「美味しさ」「楽しさ」を、ご家庭で簡単・便利かつヘルシーに味わっていただける新シリーズです。肉入りなので、「野菜を入れるだけ」の簡便商品です。

新発売



旨美鍋
牛もつ入り
牛もつ鍋

新発売



旨美鍋
国産鶏つくね入り
鶏白湯鍋

会社概要

社名	エスフーズ株式会社 SFoods Inc.(コード番号2292東証1部)
設立	1967年(昭和42年)5月22日
代表者	代表取締役社長 村上真之助
資本金	42億9,835万円
事業内容 (グループ)	食肉等の製造・卸売事業、小売事業、外食事業

株式メモ

■事業年度	3月1日～翌年2月末日
■期末配当金受領株主確定日	2月末日
■中間配当金受領株主確定日	8月31日
■定時株主総会	毎年5月
■株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番3号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 ☎0120-782-031 (通話無料)
インターネット ホームページURL) https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/

(ご注意)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先へご連絡ください。

【未払いの配当金について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■上場証券取引所	東京証券取引所
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
■単元株式数	100株



SFoods

SFoods News

2021年8月中間報告

2021年3月1日～2021年8月31日



SFoods



企業集団の営業経緯および成果についてのご報告

代表取締役社長
村上 真之助

当社の経営環境

当第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症対策としての緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が長期かつ広範囲にわたり発出されたことにより、日本の社会生活は、厳しい制約を受け続けました。一年延長されたオリンピック・パラリンピックも、開催にはこぎつけたものの、ほとんどは無観客試合を強いられました。経済面においても、多くの業界において営業の短縮・停止や売上の不振など甚大な影響を受けました。当食肉業界においても、主に外食やレジャーの不振による影響を強く受けました。

このような状況のもと、当社グループは、食肉の生産から小売り・外食まで一貫して携わる食肉事業の垂直統合を戦略的にを行っている総合食肉企業集団として、食肉商品の安定的供給と事業継続および雇用の安定に努めました。

営業の概況

食肉等の製造・卸売事業においては、需要と供給のバランスが崩れ、商品相場が不安定な中、安定的に事業を継続することと、お客様に商品を確実にお届けすることを主眼に諸施策を行いました。製品事業においては、コロナ禍での外出自粛による「自宅で専門店の味を食べたい」というニーズに合わせ、「おうち外食」をコンセプトに家庭向け製品開発と拡販に取り組みました。また、仕入れ、生産、販売の各職場において、感染防止のための衛生管理の徹底、勤務体制の見直しなどを行い、業務の遂行に支障が発生しない環境の整備を徹底しました。加えて、コロナウイルス感染症に関する社内啓蒙活動を行い、ウィズコロナにおける事業のあり方も模索しました。

食肉等の小売事業においては、対策本部において意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

食肉等の外食事業においては、2021年4月の三度目の緊急事態宣言と、まん延防止等重点措置により、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が休業や時短営業を余儀なくされる事態となりました。今後とも当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定していますが、最優先

すべきはお客様と従業員の安全との前提のもと、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防策を徹底した上で営業を継続していく方針です。

業績

当第2四半期連結累計期間の業績は、昨年に引き続き小売店向けの販売が好調に推移したことなどにより、売上高1,702億7千7百万円(前年同四半期比6.9%増)、営業利益80億6千6百万円(前年同四半期比33.8%増)、経常利益84億3千8百万円(前年同四半期比36.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益55億9千4百万円(前年同四半期比10.5%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は1,555億2千5百万円(前年同四半期比7.8%増)、セグメント利益は79億5千4百万円(前年同四半期比37.8%増)となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は120億3千8百万円(前年同四半期比1.6%増)、セグメント利益は7億6千2百万円(前年同四半期比20.7%減)となりました。

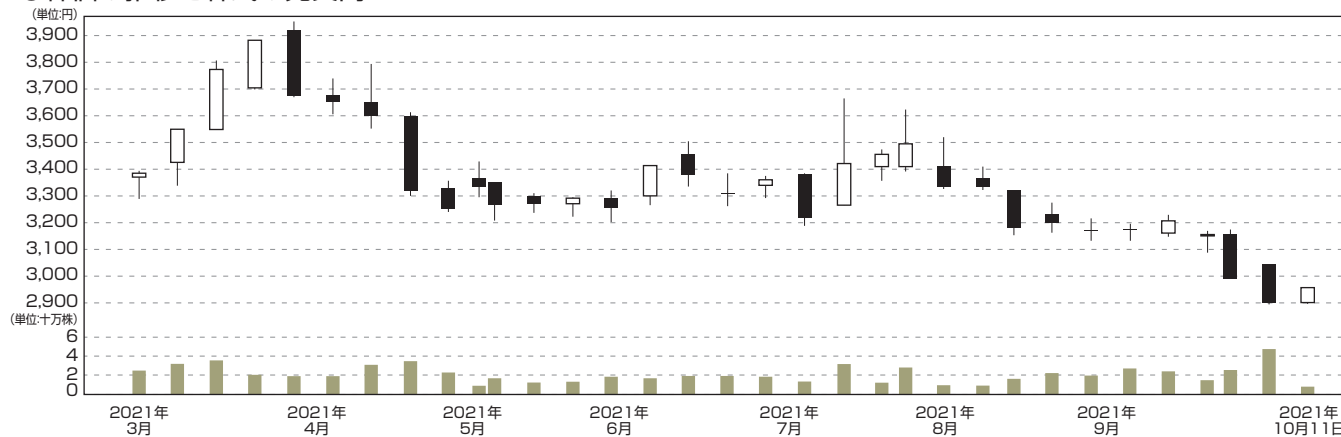
③食肉等の外食事業

売上高は19億6千3百万円(前年同四半期比17.8%減)、セグメント損失は2億2百万円(前第2四半期連結累計期間1億7千1百万円の損失)となりました。

④その他

売上高は7億4千9百万円(前年同四半期比5.5%増)、セグメント利益は2千3百万円(前第2四半期連結累計期間5千6百万円の損失)となりました。

●株価の推移と株式の売買高



※東証-適足データ

営業成績と財産状況の推移

●連結

単位:百万円

期別 区分	2020年8月 第2四半期	2021年8月 第2四半期	2021年 2月期	2022年 2月期予想
売上高	159,280	170,277	327,479	340,000
営業利益	6,027	8,066	12,609	12,700
経常利益	6,166	8,438	12,990	13,000
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	6,252	5,594	9,965	8,000
総資産	170,972	179,154	172,394	—
純資産	92,281	100,291	94,507	—

●配当の状況

単位:円

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期
一株当たり 年間配当金	56	60	64	70*
(中間配当金)	(28)	(30)	(32)	(35)
(期末配当金)	(28)	(30)	(32)	(35)*

※印は予定です

●株式の状況

発行する株式の総数	120,000,000株
発行済株式の総数	32,267,721株
株主数	4,093名